

すすむ地球温暖化 「今が気候の正念場」

2024年の夏はとても暑く、日本の6月から8月の平均気温は、1898年の統計開始から2年連続で最高気温を更新しました。世界でも気温上昇が続いており、近年、激しい猛暑で熱中症になる人が多くでたり、大規模な災害の発生や農作物の不作など、大きな影響が出ています。

国連のグテーレス事務総長は演説で、今が「気候の正念場」であり、みんなが行動することが重要だと話しました。



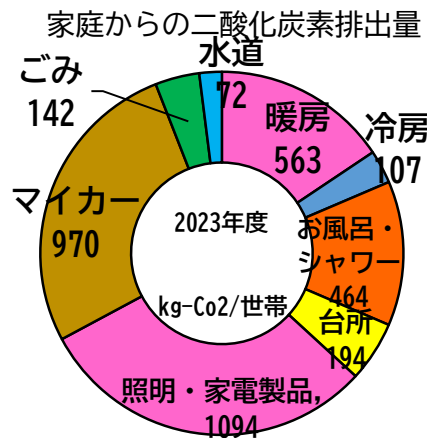
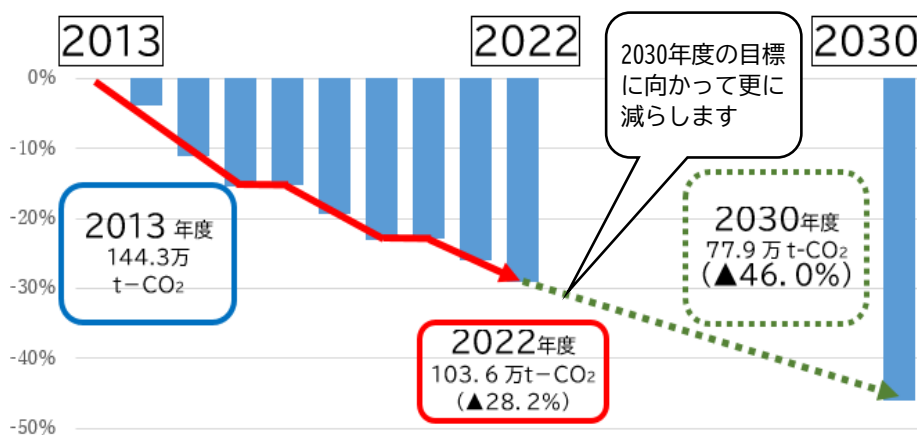
大和市気候非常事態宣言
ロゴマーク

私たちひとりひとりの取組が重要

大和市では、地球温暖化の原因となる温室効果ガスの排出量を2030年度までに、2013年度と比べて46%削減することを目標にしています。市内の温室効果ガス排出量の4分の1以上は家庭から出るので、私たちの生活から出る二酸化炭素を減らすことがとても重要です。

二酸化炭素は温室効果ガスの一つですが、右下のグラフは家庭から出る二酸化炭素排出量の内訳です。内容によって排出量に違いがあり、取組の効果が違ってきます。かんきょうノートを通して、自分が続けられる取組を見つけてください。

大和市の温室効果ガス排出量と削減率



「地球温暖化防止ハンドブック」でもっとくわしく知ろう

※学校のchromebookで右の二次元バーコードを読みこんでください（出典：JCCCA）



裏面を見て、1週間、環境にやさしい行動にチャレンジしよう。

①今までをチェック	今までの一週間をふりかえり、それぞれの項目について、できていた日の数を記入してください。
②取り組んでみよう	項目を意識して、1週間チャレンジしましょう。 できた日に○をして、最後に達成できた日数を記入します。
③どれだけCO2排出量を減らせるか計算しよう	表に書いてある数字と一週間に達成できた日数をかけて、1年間取り組んだ場合にどれだけ二酸化炭素排出量を減らせるか計算してみましょう。

分からないことがあったら、大和市 環境総務課へお問い合わせください。
電話：046-260-5493